

相生市議会だより

第 110 号

平成 25 年 8 月 10 日

発行：相生市議会〈相生市旭一丁目1番3号 ☎ 23-7122〉

編集：議会報編集委員会



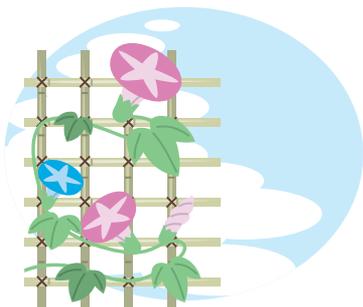
里海づくり事業（環境学習）

六月議会から

六月定例会市議会は、六月十八日から六月二十六日までの九日間にわたって開催されました。

今期定例会では、報告一件、条例改正六件、補正予算一件、事件案件四件、選挙一件、人事案件一件、請願一件、意見書一件を審議し、すべての案件は、可決、承認等されました。その主なものは六ページにまとめました。

一般質問は、七名の議員が行い、市当局の現状、方針等考え方をただしました。その概要については、二～五ページにまとめました。



〈六月議会〉 一般質問

子育て・教育、
定住促進施策
について

いわざき 岩崎
おさむ 修

問 相生市では、人口減少対策を喫緊の課題として子育て・教育、定住促進施策を実施し、二年が経過しました。成果についてどのように分析、検討されていますか。

答 人口の推移は平成二十一年度マイナス三百九十一人、二十二年度マイナス三百三十三人、二十三年度マイナス二百八十四人、二十四年度マイナス二百五十六人で、社会減には効果とみられる兆しはありますが、自然減には数値として表れているものはありません。

定住された方の声をお聞きすると、子育てしやすいという自然減対策の施策が転出抑制や転入促進につながっている部分もあると考えています。

高齢化率の高い本市においては、自然減は止むを得ないですが、社会減対策で若者が少しでも定住していただけることで、今後の出生数にも結びつくものと期待しており、もう少し長い目で見ていただきたいと考えています。

問 現在取り組まれている子育て・教育、定住促進策をより効果的に、相生市に住んでよかつたと実感できる施策へと発展させるうえで、地域医療の充実、教育環境の充実、住宅施策、雇用創出に取り組んでいくことも必要ではないか。今後の課題と見直しについて答弁願います。

答 現時点では、近隣に先駆けた総合的な取り組みであり、社会減に一定の効果が出ていると思われませんが、議員の皆さまからいただいた課題、市民の方々の声、市民アンケートなどで抽出される根本にある定住や子育てに係る地域課題への対応を行わなければ、他市町が同様の施策を実施してきたときに、それぞれのまちの魅力が今後

の人口増減に関わってくるものと考えます。

現在、若手職員を中心にプロジェクトチームを設置していますが、見直しが必要なものについては、改善や廃止も含め検討を行い、より効果的な施策の展開を図りたいと考えています。

問 高齢者の見守りについて、前回の質問時にガスや水道、新聞社などと協定を結ばないか質問したが、その後の研究はどうなっているのか。

答 五月にコープこうべよりお話があり、第一段階として新聞やガス、配食サービス事業や介護保険サービス事業者等を包括して見守り協定を結ばないか、具体的な検討に入っており、本年度中に一定の結論を出したい。

問 看護学校について、ここ数年で退職する先生が多くなっている

高齢者の見守り
について
相生市看護専門
学校の今後
について
なかの 中野
くにひこ 有彦

が、その後の対応は考えているのか。また、新たに就職しても教員になるための教員研修に八か月間行かなければなりません。退職が出た後の人員確保について尋ねます。

答 来年度は二名を採用し教員十名体制としていく。今後の人員確保については、退職する年度を踏まえ長期的展望に立った採用計画を立て人材の確保に努めていきたい。

問 受験生は、今や予備校に通い受験、浪人をしながら看護師を目指す状況です。現状での対応は困難と考えますが、将来的に二クラスにするなどの考えはあるのか。

答 ハード・ソフトの両面で多くの課題がある。ハード面では、クラスが増加した三教室分が不足し、実習室の拡張等も必要となる。ソフト面では、教員を六名増員する必要があるほか、実習受け入れ先や常勤講師を確保する必要がある。この状況から判断して、現時点で考えていない。



相生市看護専門学校

問 相生市看護専門学校は築六十年近くになっています。今後、建て替え、あるいは増築の考えはあるのか。

答 今後策定予定の公で方向性を出すこととしています。

問 現段階で建て替え、あるいは増築どちらを考えているのか。

答 市全体としての意思統一は、まだしていません。事務サイドとしては、建て替えが望ましいというスタンスで計画づくりを進めていきたい。

相生市地域福祉
計画について
健康管理システム
について
指定管理者制度
について

まえかわ いくすけ
前川 郁典

問 相生市地域福祉計画の成否は、市民の皆さまおよび事業所等のご理解とご協力が必須となりますが、情報の提供と周知の方策について伺います。

答 相生市連合自治会には、五月の総務会で、計画の必要性と推進について協力依頼をし、民生・児童委員には、五月の定例会で研修し、自治会等との活動協力をお願いしました。

問 心配ごとがないから、相談に来ない人、来られない人への対応について伺います。

企業には、地域でのボランティア活動、資産・人材等の地域への還元を、事業者には、良質なサービスの提供と利用者への保護等をお願いし、また、災害時の福祉避難所の調査検討を行い、受け入れについても協力依頼をしています。市民の皆さまには概要版を配布します。



市民健康診断

答 社会福祉協議会による「ふれあい福祉相談」は弁護士による法律相談と民生・児童委員による見回りや声かけ運動を通して対応しています。

問 健康管理システムの現状と今後の取り組みについて伺います。

答 現在の情報は、四十歳から七十四歳までの国保加入者の特定健診、がん検診、妊婦・乳幼児健診、予防接種等受診者の入力をしています。国保以外の健保の情報は入手困難ですが、努力はしたい。

問 指定管理者の業務監査の現状を伺います。

答 現在、十九の施設で指定管理者制度を導入し運営しています。定期監査は、条例により、年度終了後三十日以内に管理業務の実施・利用状況、収入実績、収支報告を受け、適正管理を期しています。

問 施設利用者からの提案や要望事項等の処理について伺います。

答 その都度担当部署で対応しており、御意見箱等により利用者のニーズ把握に努めています。

問 小さい時に読書習慣を身につけることは、大切ですが、計画はどうなっていますか。

答 図書館の児童図書校における一人当たりの蔵書冊数等、増加しています。

相生の教育
について
くすだ みちお
楠田 道雄

問 全国体力・運動能力等の調査で平成二十二年度は小学五年生は八種目中、男子、五

種目、女子、六種目、中学二年生は男子、四種目が全国平均を下回っていた。その後の体力づくりの推移を伺います。

答 平成二十四年度調査では、小学五年生で男子、三種目、女子、三種目、中学二年生で男子、三種目が全国平均を下回っているが、どの学年も改善しています。県教育委員会の運動プログラムを活用し、ミニハードル、ラダー等の用具を用いた運動を体育の授業で継続的に行い、特に小学校では、体育の授業前にサーキットトレーニングを取り入れています。

問 PTA総会や、進路説明会時にオープンスクールを実施しているが、地域に開かれた学校づくりと異なっているように感じる。

問 P D C A サイクル (※) の学校運営で地域と連携した教育活動の展開で、保護者や地域の人々からの信頼を確保し、地域全体として子どもたちの成長を支える環境づくりに努めています。

答 (※) の学校運営で地域と連携した教育活動の展開で、保護者や地域の人々からの信頼を確保し、地域全体として子どもたちの成長を支える環境づくりに努めています。

問 学校評価の公表は、どうなっているか。

答 保護者や生徒のアンケートを見て、全教職員が自己評価を行う。来年度の改善方法を報告書にまとめ、関係者評価委員(※)で評価し



授業風景

※ PDCA サイクル : Plan (計画) Do (実施、実行) Check (点検、評価) Action (処置、改善) の4段階の頭文字をつなげたものでこれを繰り返し、サイクルを向上させることによって継続的に業務を改善しようとする考え方

※関係者評価委員 : 保護者代表を含む評議員。各学校5~6名 - 3 -

PTA総会で口頭もしくは三月か四月の学校だよりで公表しています。

相生方式の教育
について
小型家電リサイクル法に対する市の
取り組みについて

たなか ひでき
田中 秀

問 相生方式の教育について、その取り組み内容および矢野・若狭野両小学校が統合凍結されましたが、その整合性についても伺います。

答 矢野・若狭野両小学校の統合を凍結する際に統合しないことによる教育上の不都合が発生しないよう両小学校をそのまま存続させたうえで、両校での合同授業や連携教育など、交流を活発に行い両校の距離を取り除く方法を考え相生方式としました。

問 統合凍結するよりも統合をするのが最善と思われるが、新校名が決まらなかったため統合凍結となったが、この点どう思っているのか。

答 統合に向けて動き出すのは、ご地元での機運が再度高まったと

きであると考えています。まだその時期ではないと考えていますが、例えばPTA役員の方などの考えをお聞かせいただく機会を再度とってみたいと考えています。

問 小型家電リサイクル法に対する市の取り組み姿勢について伺います。

答 本市は平成十四年十月に環境宣言を行い、リサイクルの推進と限りある資源の有効活用を進めており、現在約二十%であるリサイクル率を平成三十二年度には二十五%まで向上する計画としており、今後小型



美化センター分別ボックス

家電リサイクル法を遵守したうえで、効果的な取り組みを行いたいと考えています。

問 自治体の責務として各市町村の特性に合わせて回収方法を選択することが規定されていますが、具体的な取り組み方法・体制構築について伺います。

答 取り扱い品目の選定については、家電リサイクル法の指定を受け、家電量販店で引き取りを行っているテレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコンの特定四品目を除く、おおむね全ての小型家電製品が該当します。分別回収体制の確立については、粗大ごみと小型家電を区分し、個別に地区のごみステーションに排出していただく方法を検討します。

教育施設について

と 井 本 子

問 スポーツ施設についての方針を伺います。

答 相生市ではレクリエーションスポーツが盛んですが、公式競技大会を開催できる専門性を持った総合的な施設の要望もあります。

これを踏まえ、現在の利用状況、利用される方々の意見等を参考に二一ズに応じた施設整備、管理を進めていく必要があると考えています。

しかしながら、喫緊の課題は既存施設の安全性確保に向けた整備であると考えているので、今後計画的な改修を行っていきます。

問 総合的な施設整備は難しい、できないという理解でしょうか。

答 今年度から来年度にかけて、市の公共施設全体の更新計画が策定されますが、財政面を考えたアセットマネジメント（※）の導入など計画的な修繕、整備を行っていくことを第一に考えていきます。

問 教育施設全般について今後の更新計画にグラントデザインはありますか。

答 第五次総合計画、相生市教育振興計画

・基本計画で示しているとおり、基本方針は、子どもが安心して学べる環境をつくることです。

スポーツ施設を含め、社会教育施設全般においては既存施設の計画的な改修と整備を行い、その活用を図っていきます。

今後、喫緊の課題を解消し、更新計画の中でグラントデザインに応じた整備を行いたいと考えています。

若者雇用について
相生市の行政対応
について
公共施設更新問題
について

な 中 山 英 治

問 人口減少対策に欠かせない若者雇用状況の情報提供・共有が相生市はできていないと考えます。

答 高卒、大卒の正社員にない概要は、正社員就職率は兵庫県で七十三・二%、相生管内の正社員有効求人倍率は〇・五三%となっております。

問 相生市内の従業員数は七十一である。新卒

※アセットマネジメント：道路や橋梁などの公共施設について、将来的な損傷・劣化等を予測・把握し、最も費用対効果の高い維持管理を行う考え方

者と市内中小企業事業所とのマッチング支援はできないか。

答 ハローワーク、商工会議所等とどういう形がいいか検討したい。

問 部活後の更衣時間中の顧問の対応基準は。

答 部活動終了時から下校完了まで生徒を見守ることとしています。

問 外在危険型つまり、日常ケンカなど顧問が知らなくても、学校側が責任を負う。そんな事例を教職員に徹底しているのか。

答 事例の中で、事件の背後にあったものの、教職員がどう動いたかは必ず点検していく。教職員がただおるだけではだめで、どういう指導をしないといけないか十分研修し、共通理解を図ろうと思っています。

問 特定部署の公文書で包括開示請求はどうなっているか。

答 相生市にそのような事例は無い。

問 横須賀市で特定部署の公文書を包括請求に対し、請求拒否決定をし、高裁で適法判断を

得た。請求権乱用的な開示請求の歯止めと想うが。

答 効果があると思いません。

問 健全な情報公開制の度維持の条例見直しは。

答 情報公開条例第四条の利用者の責務で、適切な請求に努める規定があり、現時点では必要ないと考えています。

問 公共施設の省インフラにどう取り組むのか。

答 広域化、多機能化、ソフト化を研究し、将来人口も頭に入れ取り組みたい。

問 道路、橋の省インフラにどう取り組むのか。

答 今年度、道路ストック総点検を実施し、維持更新経費の試算を行いライフサイクルコスト(※)の縮減を図り、維持更新経費の平準化を検討します。

問 下水道の省インフラにどう取り組むのか。

答 人口減少が予想される中、下水道計画の見直しに取り組み考え

委員会の審査から

民生建設常任委員会
(五月三十日開催)

ことを決定したとの説明がありました。

次に委員より、将来的に広域処理の検討はどう考えているかとの質疑があり、効率化やごみの燃焼による熱利用等を考えれば、広域化を視野に

いた検討が必要であると考えている。現段階では、事務レベルで近隣市と情報交換を行っており、最終的な方向性は、平成三十五年度ごろに決定を行うとの説明がありました。

次に委員より、塵芥処理手数料の値上げはあ

るのか。また、消費税等の影響を踏まえ使用料および手数料の見直しをどう考えているのかとの質疑があり、塵芥処理手数料については、現段階で延命化に伴う値上げは考

えていない。使用料および手数料については、予算編成時において、全庁的に見直すこととし、費用対効果を踏まえ検討しているとの説明がありました。

は委員より、昨年、実施の市民アンケート調査では、市が実施する施策を知らないと答えた人が全体の二十四%になっている。市内への周知はどのように考えるかとの質疑があり、メディアを通じたPRにより、市外・市内への周知が同時に図られると考えている。また、市内での認知度を上げるため、これまで同様に市内向けの周知も実施していきたいとの説明がありました。

次に委員より、市街化調整区域の対応策について、具体的に示せるものはあるかとの質疑があり、具体的な方策はもっていないが、市街化調整区域の活性化は課題であると認識している。法的な制約もあるが、市街化調整区域の特徴を考慮した定住促進の取り組みについても検討したいとの説明がありました。

次に委員より、市のポテンシャルを活かした方策をどのように考えているかとの質疑があり、市の魅力向上を図ることが基本であり、そのために総合計画の各施策を確実に実施し、魅力あ

ることを目指しているとの説明がありました。

次に委員より、市のポテンシャルを活かした方策をどのように考えているかとの質疑があり、市の魅力向上を図ることが基本であり、そのために総合計画の各施策を確実に実施し、魅力あ

ることを目指しているとの説明がありました。

次に委員より、市のポテンシャルを活かした方策をどのように考えているかとの質疑があり、市の魅力向上を図ることが基本であり、そのために総合計画の各施策を確実に実施し、魅力あ

ることを目指しているとの説明がありました。

次に委員より、市のポテンシャルを活かした方策をどのように考えているかとの質疑があり、市の魅力向上を図ることが基本であり、そのために総合計画の各施策を確実に実施し、魅力あ

総務文教常任委員会
(五月三十一日開催)

「定住促進について」

※ライフサイクルコスト：建物の建設費用だけでなく、企画・設計・施工・運用・維持管理・補修・改造・解体・廃棄に至るまでに必要な総費用のこと

るまちづくりを行っていききたいとの説明を受けました。

「仮称・市民文化ホールについて」は委員より、地盤改良にかかる予算想定はとの質疑があり、確定したものでないが、設計業者からは三千万円余りと聞いているとの説明がありました。次に委員より、埋立工事の時に液状化防止の工事をしてい

六月議会で決まったこと

【報告】

◇相生市土地開発公社の経営状況について報告
報告を承りました。

【条例】

◇相生市市有財産条例の一部を改正する条例
市有地の有効活用のため、貸付期間を改正する

ものです。

◇相生市税条例の一部を改正する条例

関係法令の改正により、寄附金税額控除等について改正するものです。

◇相生市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例
関係法令の改正により、延滞金の割合の特例について改正するものです。

◇相生市の特別職に属する常勤職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

◇相生市教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例

◇相生市職員の給与の臨時特例に関する条例
国家公務員の給与減額支給措置に伴い、特別職、教育長、職員の給与を減額するものです。

◇平成二十五年度相生市一般会計補正予算
風しん予防接種費助成、起業支援型地域雇用創造事業等について補正を行うものです。

◇あらたに生じた土地の確認について

◇町の区域の変更について

て

相生港（瀬浜地区）の埋立竣工に伴うものです。

◇市道路線の変更について

◇市道路線の認定について
国道二百五十号相生港バイパス供用に伴い、変更・認定するものです。

◇安室ダム水道用水供給企業団議会議員について選挙を行い、前川郁典、柴田和夫各議員が当選しました。

◇農業委員会委員について

土井本子、吉田政男各議員を推せんしました。

【採択】 請願の審査結果

◇少人数学級の実現、義務教育費国庫負担制度の堅持に関する請願書

意見書

六月議会で次の意見書が可決され、直ちに関係機関へ送付されました。

◇少人数学級の実現、義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書

議長交際費の執行状況について

相生市議会では、開かれた市議会をめざして、議長交際費の執行状況を公開いたします。

平成 25 年度支出明細

区分	件数	金額(円)
慶弔費	5	60,300
渉外贈関係	2	55,000
その他	4	14,700
合計	11	130,000

平成 25 年度予算額 300,000 円

☆詳しくは、市議会ホームページ(※)をご覧ください。

議会活動状況

<6月>

- 10 議会報第 109 号発行
- 11 議会運営委員会
- 18 本会議 開会
- 19 本会議 再開
- 20 民生建設常任委員会
- 21 総務文教常任委員会
- 26 議会運営委員会
本会議 閉会

<7月>

- 1 議会報編集委員会
- 4 総務文教常任委員会
- 11～12 議会運営委員会行政視察
(東京都町田市)
- 23 岩手県八幡平市議会行政視察来相
(はちまんたい)
- 24 長野県須坂市議会行政視察来相
- 25 兵庫県市議会議長会
(宝塚市)
- 愛知県岩倉市議会行政視察来相
- 26 滋賀県野洲市議会行政視察来相
- 29～30 播但市議会議長会行政視察
(秋田市)
- 29 議会報編集委員会
- 30 山口県光市議会行政視察来相

<8月>

- 6 兵庫県多可町議会行政視察来相
- 7 栃木県栃木市議会行政視察来相
愛知県春日井市議会行政視察来相